

令和4年度岩城少年自然の家第1回協働会議 要旨

1 日 時 令和4年5月26日（木）午前9時半から11時まで

2 場 所 岩城少年自然の家 大研修室

3 出席者

（1）委員

三浦委員（会長）、菊地委員（副会長）、遠藤委員、齋藤委員、安齋委員、加納委員、高橋委員

（2）県教育庁生涯学習課

佐々木副主幹（兼）班長、加藤社会教育主事

（3）事務局（岩城少年自然の家）

田山所長、佐々木副主幹（兼）班長、鈴木主任社会教育主事（兼）班長、越前屋主事

4 議事概要

（1）開会

（2）岩城少年自然の家所長あいさつ

（3）県生涯学習課長あいさつ

（4）出席者紹介

（5）協働会議会長選出

会長あいさつ

（6）議事（議長：会長）

①報告

○岩城少年自然の家の運営について

○利用状況について

○新型コロナウイルス感染予防対策について

②協議

（7）閉会

5 委員からの主な意見

- ・ コロナ感染対策が非常に心配なことは間違いないが、そこまで締め付けなければいけないものではなくてきているのではないかと。利用者は当然感染しないように対策をしている。ここに重点を置いていけば事業が前に進まない。もっと重要なものを上げていけばいいのではないかと。
- ・ コロナを恐れた計画を改めて、Withコロナという考えでコロナ対策をある程度しっかりやっていながら、事業を前向きに進めていけばありがたい。年間を通して開所しているので、冬期間のイベントをもっとアピールすれば利用価値が上がるのではないかと。
- ・ 施設の職員に委ねていた消毒作業を利用団体が行うことや、入浴の人数制限等を利用者が考えていくこと等、施設の方々だけでなく、みんなで考えましょうという気持ちが伝わってくる。これこそがWithコロナだと思う。
- ・ 40周年について、知名度が不足しているところもあると思うので、せっかくの節目の機会を利用して、利用者が喜ぶような記念事業的なものをしっかり練って出していくべき。日本海中部地震からも40年ということで、近くの防災学習館で学んでみるのも良いのではないかと。